

タイトル		インドの死生観の研究 ―聖典・聖地・都市構造にみるインドの死生観―		
分野	キーワード	①インド	②死生観	
人文学				
研究者氏名:橋本 泰元 (所属:文学部インド哲学科)		[お問い合わせ先] TEL:03-3945-7483(東洋学研究所) メールアドレス:toyogaku@toyo.jp(東洋学研究所)		

【概要】

インドの死生観について、ヒンドゥー教の聖典、聖地信仰関連文献、ヨーガ行法、インド民衆詩人の著作、ヒンドゥー建築論書といった、文献研究に基づく死生観の研究を行うとともに、民衆にとって死生がどのようにとらえられているかを实地に把握する。東洋学研究所の研究所プロジェクト。

【研究内容】 インドの宗教の 8 割強をしめるヒンドゥー教に着目し、教義・哲学の面よりもむしろ生活する民衆の視点から、カビールら宗教詩人の民衆への浸透、聖地ヴァーラーナスィー(バナールス)における葬送儀礼などの詳細な研究を通じて、インドの死生観を把握する。ヒンドゥー教のさまざまな分野におよぶ聖典など、文献研究に基づく死生観の研究を行うとともに、民衆にとって死生がどのようにとらえられているかを实地に把握する。また、カビール、ミーラーン・パーイー、トゥルスィーダースといった宗教詩人の詩作についても死生観との関連から検討する。さらに、インドの都市構造の研究から、都市構造と死生との関連を検討する。そして、以上の分野での研究を総合して、インドの死生観の特色を提示する。



インド・ハリドワールでの沐浴



インド・ヴリンダーパンのクリシュナ神を祀る寺院

本研究プロジェクトは 4 名の研究者によって構成され、平成 25 年度～平成 27 年度の研究期間に、それぞれの研究者が(1)インド民衆の死生観、(2) インドの聖地と死生観、(3)古代インドの死生観、(4)インドの都市の構造と葬地の関係、といった分担課題のもと、文献研究および、南インド地方の調査、ビハール州ガヤー市の祖先供養の実態調査、ヴァーラーナスィーの聖地信仰調査などの調査を行い、その成果を研究発表会やシンポジウムにおいて発表し、討議を重ねて成果の統合をはかる。研究計画の最終年度(平成 27 年度)には、成果報告書を刊行する予定である。

【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】

葬送関連事業、生涯学習事業

【関連特許】(特許名称・出願番号等)